

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育の心理学				
担当者氏名	山崎 徳子				
授業方法	講義	単位・必選	2単位・選択	開講年次・開講期	2年・春期

《授業の概要》

保育の心理学 の続編のとして位置づけられる科目である。生涯発達の見点から、子どもと大人の相互に主体的な関係を基礎とした発達のプロセスや初期経験の重要性についてエピソードを講読しながら理解し、保育・教育との関連を考察する。
また、保育・教育の現場に必要な発達援助のあり方についても考える。

《授業の到達目標》

大人との相互に主体的な関係を基礎とする、子どもの発達段階を理解する。
保育・教育の現場に必要な発達援助のあり方を理解し、自分の障害観を確立する。

《成績評価の方法》

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 平常点(授業態度など) | 30% |
| (2) 授業の内容に即したレポート | 20% |
| (3) 定期試験 | 50% |

《テキスト》

なし

《参考図書》

鯨岡 峻、鯨岡 和子 2007「保育のためのエピソード記述入門」ミネルヴァ書房

]適宜資料を配付する。

《授業時間外学習》

- ・新聞、その他マスコミの報道などから、子どもの問題に関心を持つ。
- ・出された課題について仕上げて提出する。
- ・授業後の実習やボランティア活動などの場で、関連した事例に出会ったとき、より深く理解する。

《備考》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1		保育の心理学 への招待
2		子どもが産まれるまで
3		妊娠から出産
4		乳児期の関係発達 「育てる者」のはじまり
5		乳児期の関係発達 間主観性
6		乳児期の関係発達 認められることがなぜ大切なのか
7		自己性の発達
8		「私」という意識の確立
9		「内なる他者」の形成
10		3歳前後
11		4歳以降 多様な自己理解
12		保育の中の「気になる子」
13		子どもの力 アトム共同保育所の実践
14		自己肯定感を育む
15		まとめ